

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	ピアノ表現 1	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2 単位	授業形態	演習		
教科書/教材	毎回レジュメ・目標を配布する。楽譜：教則本、プリント、「ポケットいっぱいのうた」				
担当教員情報					
担当教員	藤田 美保		実務経験の有無・職種	有・音楽教諭	
学習目的					
音楽表現、身体表現、言語表現、造形表現の各領域を横断した「表現」に関する知識や保育技術の習得を目的としている。学生が幼児教育とは何なのかを考察し、幼児教育の中の「ピアノ表現」の位置づけを理解できるようになるために、主にピアノを使用し、幼児教育の重要性を理解し、幼児に対する情操教育の重要性を学ぶことを目的としている。そして数多くの幼児の曲が弾けるようになるということが、最大の目的である。					
到達目標					
学生が日々活動している社会の中で自分を位置付けることを目標としている。ピアノだからこそ表現できることを考えながら、いかに幼児教育に取り入れていくかを考える。また、幼児教育についてや保育内容について理解し、ピアノを使った弾き歌いによるピアノと歌との表現方法、保育内で必要な弾き歌いの知識も合わせて習得することを目標とし、初心者でもピアノを弾くことへの抵抗をなくし、楽しくピアノに取り組むことが最大のテーマとしている。					
教育方法等					
授業概要	楽譜「バイエル」を使って、ピアノを弾くための基礎から学び、楽譜を読むために必要な知識を身につけ、ピアノ奏法を学び、弾き歌いや伴奏法への応用力を身につける。また、保育現場で使用される曲を中心に、実用可能なレベルに仕上げる。実技習得は、各自の習得度に合わせて個人的に指導を行う。弾き歌いに関しては「ポケットいっぱいのうた」を使用し、伴奏をコードで弾きながら歌う方法で弾き歌いを演習する。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「表現」の内容を基に、ピアノに真摯に向きあう。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。楽譜を忘れたものは授業は受けられない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	30%	毎回提示する課題についての仕上がり度を評価する		
	平常点	30%	ピアノに向き合う姿勢、授業態度について評価する		
	試験	40%	試験における課題曲の完成度を評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ピアノ教育についての考察		ピアノ実技レッスン授業としてのガイダンスを行い、ピアノ教育の重要性について理解する		
2回	ピアノを使っの表現を考察		ピアノ初歩練習曲を使って、基礎的な練習方法を理解する		
3回	右手の練習方法を学ぶ		バイエル教則本を使用し、右手練習の基礎的な練習方法を実践する		
4回	左手の練習方法を学ぶ		バイエル教則本を使用し、左手練習の基礎的な練習方法を実践する		
5回	両手の練習方法を学ぶ①		バイエル教則本を使用し、両手練習の基礎的な練習方法を実践する		
6回	両手の練習方法を学ぶ②		バイエル教則本を使用し、両手練習の基礎的な練習方法をさらに実践する		
7回	基礎的な成果発表(中間テスト)		幼児の曲にコードで伴奏をつけて発表する		
8回	音階とコードについての考察		調性と音階を理解する		
9回	Cのコードについての考察		ハ長調の音階を持つ曲についての実践をおこなう		
10回	FとGのコードについての考察		ヘ長調とト長調の音階を持つ曲についての実践をおこなう		
11回	その他のコードについての考察		その他の調の音階についての実践をおこなう		
12回	コードを使った伴奏法の考察①		メロディーに合わせたコードの選択についての実践をおこなう		
13回	コードを使った伴奏法の考察②		メロディーに合わせたコードのバリエーションについての実践をおこなう		
14回	課題曲についての考察		課題曲の選択とコードについての確認、両手練習の実践をおこなう		
15回	コードによる弾き歌いの発表		発表の準備をおこなう		